



# 白馬村図書館等複合施設基本構想 概要版

平成31年3月  
白馬村役場 総務課

# 1. 背景と目的

現在の白馬村図書館は、旧長野地方法務局大町支局白馬出張所の限られたスペースでサービスを提供しており、以前から新たな図書館を望む住民の声が上がっていました。

今後の人口推移や財政状況を踏まえ、将来にわたって教育と文化の発展に寄与できる図書館機能に加えて、現在不足している施設・サービス等を複合的に備えた施設として検討することとしました。

白馬村では第5次総合計画において「白馬の豊かさとは何か―多様であることから交流し学びあい成長する村―」を基本理念に掲げ、幅広い年代において住民が主体的に学び続けることで、「一人ひとりが成長し活躍できる村」を目指しています。

新たな図書館等複合施設については、村の基本理念を具現化する拠点となることを目指して、様々な角度から意見を出し合い、交流の場の創出と、建設後の運営費の抑制も含めて、複合される機能が相乗効果を生み出すような合理的かつ効果的な施設となること、さらには、まちづくりの推進拠点となることなどを目指し、基本計画及び設計の礎となる基本構想を策定します。



# 2. 新たな図書館等複合施設に対する意見収集（1）

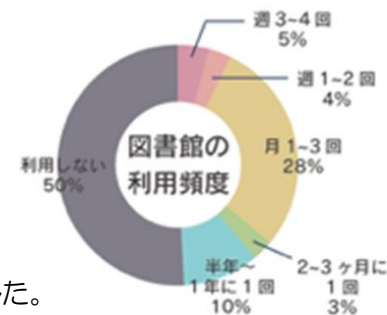
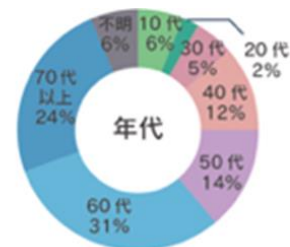
白馬村では、新たな図書館等複合施設の検討にあたり、多くの地域住民の声を反映させるため、住民を対象としたアンケート・ヒアリング・ワークショップ、図書館施設検討委員会等を実施してきました。また、専門的な視点も取り入れるために、各分野に知見を有する委員による有識者会議も開催してきました。

## 1. 住民アンケート

住民の声を広く聴くことを目的として「白馬村図書館等複合施設の建設検討に関するアンケート」を実施し、95名から回答を得ました。

### アンケートの設問

- ①あなたが思う白馬村の良いところ・好きなところを教えてください。
- ②白馬村の課題や問題点があれば教えてください。
- ③白馬村の図書館はどのような図書館であってほしいと思いますか。
- ④図書館を含む複合施設にはどのような施設・機能があれば良いと思いますか。
- ⑤白馬村の課題解決のために図書館等複合施設に期待することを教えてください。



アンケート結果として、次のようなことがわかりました。

- ①豊かな自然と多様で温かい人々が魅力であること。
- ②子どもの遊び場や芸術・文化も含めて雨天時に楽しむことがないこと。
- ③誰もが気軽に立ち寄れて学びや寛ぎ・安らぎが得られる図書館が望まれていること。
- ④子育て支援施設や芸術・文化施設の複合かを望む声が多いこと。
- ⑤多様な人がつながり協働する施設、夜間も利用できる施設、次世代への負担を和らげる施設が期待されていること。

## 2. 新たな図書館等複合施設に対する意見収集（2）

### 2. 住民ヒアリング

主に宿泊関係者や子育て中の母親など住民11名（男性3名、女性8名、年齢30～70代）に対して、今の白馬村や白馬村図書館をどのように感じているのか尋ねました。

#### ヒアリング内容

- ①白馬村に対する意見
- ②白馬村図書館に対する意見
- ③新たな図書館等複合施設に対する意見（空間/複合する機能/建設場所等）



現状に対しての主な意見として「居場所がない」というものが多くありました。

また、建設場所については、人が集いやすいような駅や役場の周辺を望む声が多くありました。

なお、「白馬村の特徴を活かした活動をする施設が少ない」との意見も多く、それらのほとんどの意見が、新たな図書館等複合施設に期待されるものでした。

### 3. 住民ワークショップ

多様な住民からの意見を収集することを目的として、3回にわたるワークショップを開催しました。参加者を公募したところ、地域に長く住んでいる人や最近移住して来た人なども含め、高校生から60代までの幅広い年代の25名（平均年齢34歳）にご参加いただきました。

5つのグループに分かれて、「SDGs（持続可能な開発目標）」の17の目標を案内図に、参加者一人ひとりが白馬村のまちづくりのイメージや将来像を広げていき、アイデアを出し合いました。



#### ワークショップ内容

##### 第1回

📎 テーマ  
「SDGsから白馬村の未来を描き、新たな図書館等複合施設のあり方を考える」

##### 第2回

📎 テーマ  
「周囲の人々へのリサーチを行い、施設に求められる機能を考える」

##### 第3回

📎 テーマ  
「機能の深掘りと実現するために必要なヒト、コト、モノを語る」

\*ワークショップで出された意見は裏表紙に掲載してあります。



#### 特に議論された機能

- ①「交流の場」としての機能  
村民・観光客も含めて多世代・多文化が交わる施設
- ②教育・生涯学習としての機能  
地域の歴史・文化、自然や語学を学ぶ施設
- ③芸術・文化を活用した観光施設としての機能  
音楽や美術などインドアの魅力を高め村民の暮らしの質も高める施設
- ④医療・健康に関する機能  
住民の健康管理に寄り添い、必要な情報を提供する施設

## 2. 新たな図書館等複合施設に対する意見収集（3）

### 4. 図書館施設検討委員会

図書館施設検討委員会では、「村民が望む図書館像とは何か」ということから検討をはじめ、「白馬らしさが感じられる図書館」について議論を重ねて、平成30年10月に「新しい図書館の施設及びサービスに関する報告書」をまとめました。

#### 報告書の要点

#### ①新たな図書館の基本的な考え方

「誰でも利用しやすい」  
「白馬らしさが感じられる」  
「飲食可能エリアの検討」等

#### ②図書館コンセプト

「街中のケルン」

#### ④建設候補地

- ・自然に囲まれて白馬三山が展望できる
- ・駅周辺や学校周辺で利用しやすい
- ・遠方の人も含め車などで訪れやすい
- ・近接した土地に余裕がある

#### ⑤施設規模

- ・延べ床面積1,180㎡
- ・蔵書冊数74,470冊
- ・閉架冊数54,284冊
- ・職員数7人

#### ③図書館サービス

館内・館外事業、読書教育事業、広報事業、学校との連携事業

#### ⑥その他

- ・子連れでも気軽に利用できるように一時預かり等の機能検討
- ・子どもや高齢者と一緒に利用しやすいカフェの検討
- ・多目的室など日常的に使用しない場合の一般開放の検討
- ・「静かにする場所」というイメージの払拭と「音」「飲食」「遊び」等への配慮

### 5. 庁内検討

「白馬村公共施設等総合管理計画」を基に、既存の公共施設の耐用年数や老朽度、図書館との親和性、村の政策等を総合的に検討した結果、旧中部保育園を使用しているため、老朽化が進み耐用年数も経過している子育て支援ルームと、ふれあいセンター3Fで事務室と共存しているためスペースが限られている白馬北小学校放課後児童クラブを複合化の候補としました。

両施設については、村が推進する子育て支援の観点からも優先度が高く、図書館との複合化による相乗効果も期待されます。

施設名称	子育て支援ルーム	白馬北小学校放課後児童クラブ
延面積	1,195㎡	96㎡
建築年度	S50	H5
耐用年数到来年度	H21	H39
老朽化緊急性	○	△
図書館との機能的親和性	○	○

### 6. 有識者会議

各分野の専門的な視点からの意見を得るために、「白馬村図書館等複合施設に関する有識者会議」を設置し、9名の委員による議論を重ねました。

#### 有識者会議の内容

#### 第1回

白馬村の概要と白馬村図書館の現状及び検討経過、基本構想策定に向けた今後の進め方等

#### 第2回

同規模自治体の事例、既存公共施設の候補、複合化により魅力を高める機能について

#### 第3回

複合化に併せて交流を生み魅力を高める機能・施設、運営について

#### 第4回

子ども・子育て支援機能と複合施設の検討、これまでの議論のまとめ

全4回の有識者会議において、様々な意見が出された中でも、村内外、国内外から訪れた人々が集い、会うことのできる「交流型」の施設とすること、そして、そこでアートや音楽に触れたり、中高生などの若者も居場所として過ごしたり、白馬村の情報を充実させることで、長く過ごせる「滞在型」の施設とすることの重要性が議論されました。



### 3. 基本的な方針

現在の図書館施設では、面積的に拡張することが難しく、閲覧席の数や蔵書の慢性的な不足など、図書館としての基本的なサービス及び多様な機能が十分に提供できていません。新たな交流拠点となる施設が住民から求められることも鑑み、多くの人々が集うことで相乗効果が得られるような複合施設として、現在とは別の場所に新設することを目指します。

#### 図書館機能 (約1,200㎡)

適正な規模で住民の期待に応えるサービスを提供するとともに、居場所としての機能も備え、「知る」「学ぶ」に加えて、交流型・滞在型の施設を目指します。

#### 子育て支援機能 (約800㎡)

多世代が集う場、多文化に触れる場として、子育て支援ルーム・白馬北小学校放課後児童クラブなど、子どもたちの学びの効果を高めることが期待されます。

#### その他の機能

民間事業者の活用も含めて、複合化することで魅力を高め交流を創出し、収益を生み出すことが期待される機能について、実現可能性も含めて検討します。

村の基本理念である「多様であることから交流し学びあい成長する村」の実現に向けて、多様な人々に配慮した施設とし、白馬村の歴史や文化を学ぶ場を提供するとともに、多様な文化・言語・価値観に触れ、視野が広がる交流が生まれるよう、必要な機能を検討します。また、降雨・強風などの悪天候時に、多くの人たちが集い楽しめる場所となることも求められています。

建設場所については、複合施設としての機能を考慮し、白馬村役場～JR白馬駅周辺が候補となりますが、今後機能と規模をさらに精査しながら候補地を選定していきます。

### 4. 目指す姿

これまでに出示された、村内外・国内外問わず、多様な人々が集い、出会い、交流し、学ぶことのできる場所であってほしいという思いや、図書館施設検討委員会でも「街中のケルン」というコンセプトを生み出したこと、そして、今を生きる私たちが、多様な文化と交流する居場所づくりをすることで、未来を担う子どもたちが豊かな白馬村を創造することのできる拠点として、集い続け、愛され続ける施設となってほしいという願いを込めて、新たな図書館等複合施設のコンセプトを以下の通り決めました。

多様な創造性と出会い、  
豊かな未来へ誘う道しるべ



多様な出会いから多様な創造が生まれ、それが白馬村の自然や文化を継承しながらも発展していくケルン（＝道しるべ）となることを目指します。

## 5. 機能の検討

音楽やアートによる交流の視点、中高生の居場所及び活動拠点の視点なども含めて、有識者会議でも議論された「滞在型」かつ「交流型」の施設とすることを2つの大事な柱として、さらに検討を進めます。

### 「滞在型」の施設

「知る」、「学ぶ」を主体としながら、本を借りて返すだけでなく、館内で「調べ」、十分な満足感を持ち帰ることができる「滞在型の施設」を目指します。

「知る」、「学ぶ」、「集う」ことで、新たな複合施設の価値や利便性・有効性を感じてもらえるような機能・あり方を検討します。

### 「交流型」の施設

図書館は、多様な人々が集まる場所であり、「交流」という観点においても最適な場所と言えます。

交流を促進するという視点で、座席の配置や導線を重点的に検討し、村の基本理念である「多様であることから交流し学びあい成長する」を具現化する拠点となるべく、交流の仕掛けを設けます。

### 図書館に求められる8つのサービス

「地域の仕事を知る」  
事業展開

子育て支援としての  
図書館（子ども図書館）

多世代・多言語の  
サービス

ネットワークシステムの  
活用（本の借りやすさ）

地域住民が世代を  
超えて学ぶ場  
（コミュニティ・カレッジ）

専門家人材の育成と  
ボランティアの活用、  
起業支援

地域資料の保管・活用

情報基地（知の拠点）  
としての役割

### 機能連携の 主な内容

#### 子育て支援施設との連携

子ども・子育てをする親への支援  
地域全体による支援  
ワーク・ライフ・バランスの実現への支援  
白馬村の風土や社会資源を活かした支援

#### 交流を生み魅力を高める機能

アールスペース（イベント・芸術家誘致）  
マンガ図書館  
附帯施設（ホール・会議場・カフェ等）

交通アクセス

環境への配慮

#### 健康・医療との連携

健康相談等  
他の行政サービスとの連携  
医療健康情報サービス

## 6. 建設・運営に向けた今後の検討

これまでに挙げた機能やサービスについては、様々な視点やニーズに基づき整理したのですが、これらの機能を全て実現させることができるかどうかについては、必要な規模や財源の確保等の課題を含めて精査する必要があります。

新たな図書館等複合施設に盛り込む機能を取捨選択し、サービス内容も充実させつつ、維持管理も含めて白馬村に相応しい規模で実現可能な施設整備を目指すため、具体的な検討を進めながら基本計画を策定します。

2023年度の開館を目指して、次のスケジュールで進めていく予定です。

内容	年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
基本構想策定		→					
基本計画策定			→				
用地交渉・取得			→				
施設長の採用				→	→	→	→
各機能の運営検討				→	→	→	→
設計					→		
施工						→	
開館							→

新たな図書館等複合施設の建設及び運営に必要な財源、建設候補地の絞り込みに加えて、官民連携（PPP＝パブリック・プライベート・パートナーシップ）も視野に入れながら、事業手法及び運営体制等について、地域との連携や民間活力の導入方法等についても検討します。

また、運営体制と施設のあり方の検討についても、ボランティアやサポーターを通じた交流が促進されるよう、ハード面及びソフト面の設計を検討します。



地域の課題解決の場として、白馬村らしさが詰まった交流拠点として、「多様な創造性と出会い、豊かな未来へ誘う道しるべ」となる白馬村図書館等複合施設の整備を進めていきます！

### 白馬村図書館等基本構想（案）に関するお問合せ先

白馬村役場 総務課 政策企画係  
 〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村大字北城7025番地  
 TEL：0261-72-7002  
 FAX：0261-72-7001  
 電子メール：somu@vill.hakuba.lg.jp

# ワークショップ みんなのアイデア

1 貧困をなくそう

- ・食べ物を持ち寄れる子どもカフェ、村民食堂
- ・「食」=子どもの居場所作り
- ・子どもでもお手伝いできてお小遣いがもらえる
- ・絵本がたくさんある図書館
- ・就労支援

2 飢餓をゼロに

- ・地場産品を安く入手できる仕組み
- ・料理ができる図書館（郷土料理もできる）
- ・生活の知恵の共有
- ・高齢者から若年層への食文化の伝承
- ・道の駅と複合している図書館
- ・新しい職場ができるという考え方

3 すべての人に健康と福祉を

- ・独りぼっちのお年寄りへのケア
- ・村内にクリニックしかない不安
- ・医療や福祉施設との連携
- ・温泉（足湯）を引く
- ・スポーツジムの設置
- ・アルコール依存症・ギャンブル依存症の解決

4 質の高い教育をみんなに

- ・不登校児童・学生へのケア
- ・社会人のキャリアアップ、退職後の生きがい探し
- ・子どもから大人までが交流できる空間
- ・夏休みなどの体験学習の開催
- ・九九があやふやな中学生の救済
- ・国際交流スペース
- ・コミュニケーション力、会話力を養い情報が集う

5 ジェンダー平等を實現しよう

- ・家事と育児の負担のシェア
- ・ジェンダーフリー（男女平等）の理解の促進
- ・ダイバーシティ（多様性）を認め合う
- ・パートナーシップ制度
- ・研修会、勉強会、自主学習、知識の共有
- ・LGBTQに配慮した誰でも使えるトイレ

6 安全な水とトイレを世界中に

- ・水の流れや音を感じる施設
- ・茶室付き、日本庭園がある施設
- ・自然の中で寝ながら楽しめる施設
- ・パリのように温泉水など水の無料飲料機を設置
- ・庭に池や小川をつくる
- ・防災施設としての機能

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- ・小水力発電、バイオマス発電の活用
- ・太陽エネルギーを使う施設
- ・公共交通の利用促進
- ・雪室の活用
- ・電気自動車、水素自動車のシェア

8 働きがいも経済成長も

- ・多様な業界と職業
- ・観光活性化の拠点
- ・図書館に居間のノウハウ
- ・ワークスペース、サテライトオフィス
- ・就労支援、創業支援
- ・情報と人のアーカイブとマッチング

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- ・ものづくりを楽しめる空間、メイカーズスペース
- ・レーザーカッター、3Dプリンタ、ソフトウェア
- ・タブレットで様々なジャンルの本が読める図書館
- ・地域通貨、キャッシュレス
- ・分野毎にクラス分けされた農業学校
- ・コワーキングスペース
- ・経験知識豊富なアドバイザー、マスターの存在

10 人や国の不平等をなくそう

- ・障がい者への配慮
- ・多言語化対応（表示・本・職員・事務書類）
- ・外国人と日本人の交流
- ・カルチャーミックス
- ・運転免許がない人にも配慮してバス停を設ける
- ・地域間の不平等を解決する移動図書館

11 住み続けられるまちづくりを

- ・夕方～夜間に行政サービスを受けられる機能
- ・子どもたちが集えて「遊び場」になる図書館
- ・短期滞在者でもリクエストできるように
- ・マンガ喫茶のような図書館
- ・子どもとお年寄りが触れ合える図書館
- ・自分の好きな場所を見つけられる図書館
- ・宅配の受け取りができる図書館
- ・空き家バンク、空き家対策

- ・カフェ、美容室、ミニシアターが併設された図書館
- ・コミュニティバスまでいなくても何らかの乗り合い
- ・移動販売などおしゃれな感じで人が集まれる場（クラフトフェア）
- ・一人暮らし世帯のコミュニティとなる施設
- ・託児、保育所のある図書館 ・駅の上にある図書館
- ・公共公園を整備 ・夜に外灯がある施設 ・個室のある図書館
- ・星が見える図書館 ・小児科、産婦人科 ・防犯機能、災害対策

12 つくる責任 つかう責任

- ・ゴミを減らす取り組み
- ・リユースコーナーのある図書館（本・服・雑誌など）
- ・プラスチック問題
- ・ポイ捨てをなくしたい
- ・既存の施設を有効活用するべき
- ・みんなで壁を塗ったり花を植えたりする
- ・マルシェ、マーケットとしての機能（量り売り、NOパッケージ）

13 気候変動に具体的な対策を

- ・自然や季節を感じるができる空間
- ・司書が季節によって制服を変える図書館
- ・冷暖房は季節を感じられる程度のもので、クリーンエネルギーとのタイアップ
- ・温暖化と雪をテーマに地球の変化を身近に知る
- ・気候変動サミット開催

14 海の豊かさを守ろう

- ・プラスチック製品を使わない
- ・川の生態系を守る
- ・耕作放棄地の利用
- ・山小屋のトイレ改善
- ・上流の白馬から海に流れていく責任

15 陸の豊かさも守ろう

- ・山がきれいに見える図書館
- ・木の香りがする図書館
- ・テントを張れる図書館
- ・動物とたわむれることができる図書館
- ・自然の中に図書館をつくる
- ・林業の復活、針葉樹を広葉樹に植え替える
- ・乱開発をやめる
- ・研究機関の誘致
- ・素材や色など計画性をもった景観づくり
- ・くつろげる芝生広場

16 平和と公正をすべての人に

- ・誰でもWelcomeな空間
- ・世界中の本が読める図書館
- ・外国の文化紹介コーナー、イベントの開催
- ・村親制度、ゆるいホストファミリー
- ・話し合い考える場、セミナーや展示などを継続的に開催し、平和な毎日を目指す
- ・知る、学ぶ、つながる機会（本、講演、シンポジウム）
- ・自然との共生、書籍・アート・映像の集合
- ・山、川、自然と触れ合える機会

17 パートナーシップで目標を達成しよう

- ・クリエイティブな考え方と実践
- ・住民の活動拠点、地域づくりを学ぶ場
- ・官と民の連携
- ・白馬駅×カフェ×図書館
- ・老人いこいの家
- ・地域、地区同士のつながりを考える
- ・学童、児童館